

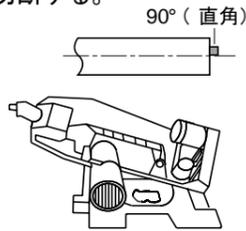
COREシリーズ 施工要領書 施要12-001-04

施工手順

施工準備手順

①管の切断

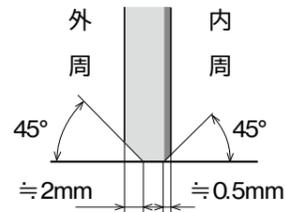
管の端面と軸線とが直角になるようにクランプして切断する。



バンドソー等で切断

②管端面の面取り

パッキンの損傷や押し込み防止のために管端面を面取りする。



管内外面のバリ、カエリを除去すること

③標線の記入

挿入代の位置に、マーキング線を記入する

	呼び	挿入寸法
通気継手	上部	全サイズ 65
	横枝	58
脚部継手	ゴム輪受け口	100 50
	フランジ受け口 (立て管側)	80 46
		100 55
	フランジ受け口 (横主管側)	125 63
		100 60
	フランジ受け口 (横主管側)	125 68
150 70		
	200 79	

フランジ受け口の挿入寸法は目安です

④管とパッキンの清掃

ウエスなどで管表面とパッキン内面を清掃する。



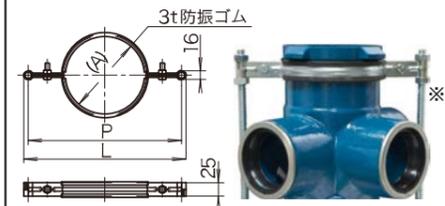
⚠️ モルタルの粉塵や、耐火二層管の切粉のほか、ごみや糸くずなどが付着していると、漏水の原因になります。必ず管表面とパッキン内面を清掃してから施工してください。

⚠️ ご注意

- 継手に装着してあるVGパッキン(立て管)、KOパッキン(横枝)、Oリングは取り外さないでください。一度取り外したパッキンを取り付けると漏水の原因になります。
- KOパッキンのステンレス補強金具がコンクリートスラブに接触しないように施工してください。配管の振動によって異音発生の原因になります。
- 挿入する管は端面の面取りを行い、バリ、カエリが完全に除去されたものをご使用ください。
- VGおよびKOパッキンに排水管を挿入する場合は、管の外径寸法がJIS規格で定められた許容差内の管をご使用ください。JIS規格から外れている場合や管表面に著しい段差、凹凸、錆バリ、きず等がある場合には、漏水するおそれがあります。
- パッキンの当たり面を付着物のないきれいな状態にしてください。漏水の原因になります。
- 排水立て管および排水横枝管の差し口に予めマーキングした最大呑込代が確保された状態で接合完了してください。
- 満水試験: 30kPa(3mAq)以上 30分以上 満空試験: 35kPa以上 15分以上
- KOプラグの組立て及び再装着時には必ずKOPの外周面に固着しない滑剤(シリコングリースメイト)を塗布してから装着してください。
- 本要領書の内容と異なる方法で施工された場合のトラブルに関して、弊社は一切責任を負いません。

支持金具

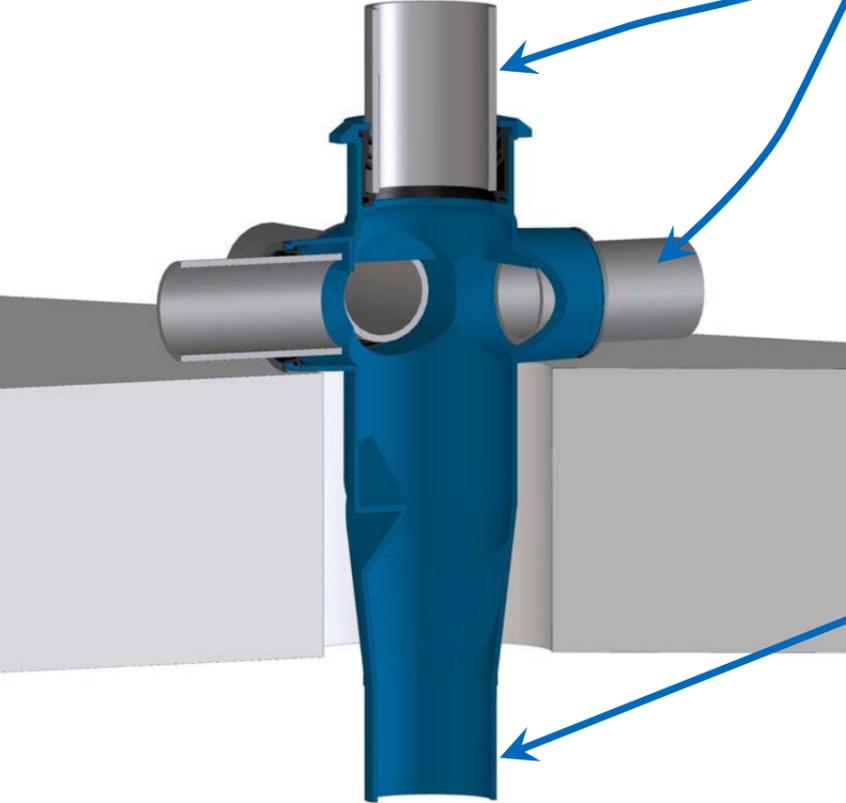
DJセッター 防振ゴム付き
通気継手用



品番	呼び	(A)	P	L
DJ	80	120	260	272
	100	144	280	292
	125	171	380	392

※アンカー、全ねじボルト・ナットは付属しません。

LS40H 防振ゴム付き
脚部継手吊り下げ施工用治具



上部立て管

- ①面取りした立て管と受け口のVGパッキンの全周にCOREソープをたっぷり塗布し、管を垂直に立てて、VGパッキンが内側へ押し込まれないように完全に挿入する。
- ②立て管を挿入後、VGパッキンが内側へ押し込まれていない事を確認する。
- ③差込み深さを示すマーキング線が受口上端面にあることを確認する。



横枝管

- ①面取りした横枝管および便器接続管を、パッキンのマクラ部に載せ、そのまま水平に継手受口の軸線に沿って押し込み、マーキング線の位置まで挿入する。
- ②マーキング線が横枝管受口端面にあることを確認する。
- ③適正なこう配が確保されている事を確認する。

エキセンブッシュ施工方法



1. あらかじめエキセンブッシュ(EMB)、ソケット、横枝管を接着してください。
 2. KOパッキンとエキセンブッシュのステンレス面に示した“合い印”が一直線になるように横枝管を接続してください。
 3. エキセンブッシュのステンレス面が、KOパッキンのステンレス面より突出しないように配管施工してください。
 4. ”KOパッキンの許容可とう角度は±3°です。エキセンブッシュ(EMB)が全周方向に±3°以上傾かないように配管してください。配管が3°以上傾くとEMBはKOパッキンから突出し、漏水する場合があります。
- ⚠️ 排水横枝管の差し口に予めマーキングした最大呑込代58mmが確保された状態で接合完了して下さい。完全に挿入されていない場合は漏水することがあります。横枝管の施工時、滑剤は不要です。

下部立て管

● CORE通気継手の下部直管部は鋼管外径仕様です。各種立て管受口の施工要領にしたがって施工してください。

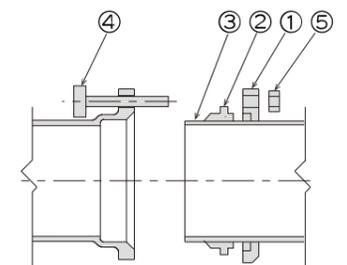
脚部継手, US継手

Oリング仕様

LJS-K,LJS-EKの立て管側とUS継手の上部受け口はOリングによるワンタッチ接続です。受け口のOリングと、以下の手順に従って施工してください。継手又は立て管の全周にCOREソープをたっぷり塗布して挿入してください。接続後、Oリングに異常がないことを確認してください。

フランジ仕様

LJS-K,LJS-EKの横主管側、US継手の下部受け口と、LJ-Kの立て管及び横主管側の受け口はフランジによるメカニカル接続です。●①フランジ②KMパッキンを③管又は継手直管部に通す ●③管又は継手を受け口に挿入する ●④Tボルトを脚部側から挿入する ●⑤ナットを均等に指定トルクで締め付ける

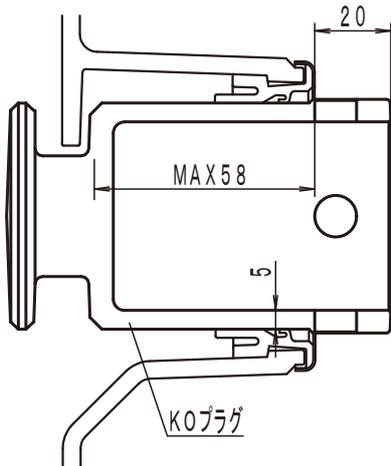
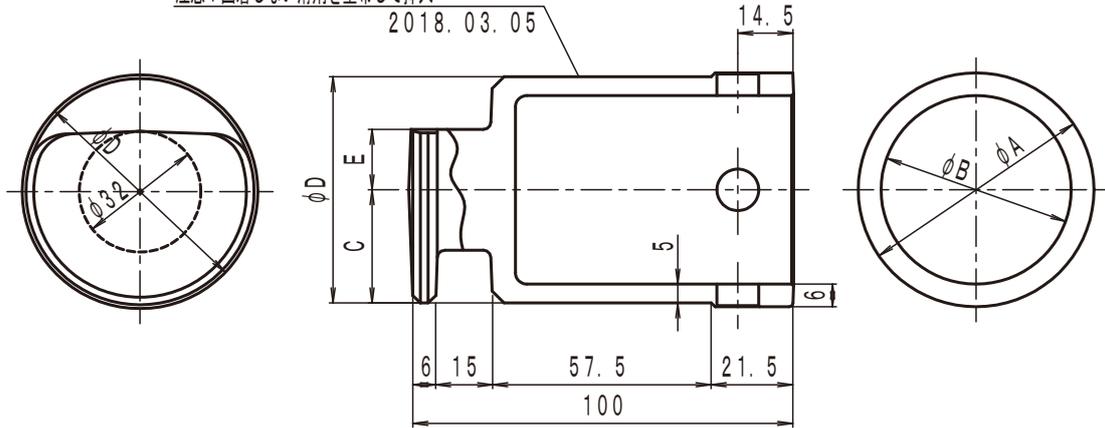


⚠️ 脚部継手はLS40Hと横主管吊りバンドを用いて施工してください。接続前に管端面の面取り(C2程度)を必ず行ってください。フランジ接続部には滑剤を使用しないでください。管がマーキング線まで確実に挿入されていることを確認してください。

呼び	ボルト・ナット呼び	工具呼び	締め付けトルク [N・m]
80	M10	17	25
100	M10	17	30
125	M12	19	40
150	M12	19	45
200	M14	21	75

注意：固着しない滑剤を塗布して挿入

2018. 03. 05



KOプラグ接続部形状

■寸法表 ※締め付け棒は別売品です。

符合	50A	65A	80A
A	62	78	91
B	50	66	79
C	30 ±0.5	38 ±0.5	44.5 ±0.5
D	60 ±0.2	76 ±0.2	89 ±0.2
E	16 ±0.5	24 ±0.5	26 ±0.5

<施工上のご注意>

KOプラグを装着後、白色ペイントが上向きになっていることを確認して下さい。



挿入時（アンロック）
横枝口上面（白色）とKOプラグ（赤色）を合わせる



固定時（ロック）
横枝口上面（白色）とKOプラグ（白色）を合わせる

図種	説明図	品名	K O プラグ		品番	K O P		図番	仕部 09-016-06	
株式会社 小島製作所					単位	尺度	作図年月日	承認	検図	作図
〒454-0027 名古屋市中川区広川町5丁目1番地 TEL. 052-361-6551 FAX. 052-361-6556 URL. http://www.kojima-core.co.jp					mm	1 : 2	2018. 04. 20	加古	岩槻	大浦